



両親に勝利届ける

光星
甲子園だより

原 瑞斗外野手（3年）
はら みずと

落ち着いた性格でチームメイトから「はら兄」と呼ばれている。開会式では大観衆に感動した。「特別な場所で野球ができる幸せを感じながらプレーしたい」

甲子園での勝利は、「誰にも甘えられない環境で野球がしたい」との思いを尊重し光星への進学を許してくれた両親に届けるつもりだ。両親がラインで送ってくれた自分の過去の本塁打映像を見て自信を深めている。「最後まで諦めず、やるからには覚悟を持って試合に臨む」と気持ちを新たにしている。

（奈良県・片塩中出身、178センチ、78キロ、右投げ左打ち）